

保護者の皆様へ

愛知県立岡崎聾学校 鹿嶋 浩

新型コロナウイルス感染症対策について（お願い）

新緑の候、保護者の皆様には日頃から本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。併せて新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に基づく臨時休業期間延長に際しましても多大な御負担をお掛けする中、御理解をいただき誠にありがとうございます。

さて、本校では学校再開に当たり「新型コロナウイルス感染症に対応した学校再開ガイドライン」に基づき、下記のとおり感染症対策を講じて参ります。4月16日付配布文書から変更した点がありますので必ずお読みいただき、お子様の健康並びに学校全体の感染症予防対策に御理解と御協力をいただきますようお願いいたします。

記

1 健康観察の徹底

(1) 登校前

- ・御家庭にて、毎朝起きてすぐの体温を測って、体温と健康状態について「健康チェック表」に記入して持たせてください。

★毎日（土日祝日も含む）の検温と健康観察をし、「健康チェック表」に記入をしてください。

★体温が37.0℃以上の発熱、または、風邪症状（咳、鼻水、腹痛、下痢、食欲不振、だるい等）があるときは、自宅で休養してください。この場合の出欠の扱いは「出席停止」となります。

★御家族に体調不良の方がいる場合は、必ず登校前に学校に連絡をください。

(2) 登校後

- ・登校したら担任に「健康チェック表」を提出して健康観察を受けます。

※1日の活動をとおして、37.0℃以上の発熱、普段と様子が違うなど体調が心配されるときは1時間経過観察をします。それでも様子が変わらない場合は、御連絡をしますので速やかにお迎えをお願いします。

(3) 給食前

- ・健康観察を行います。

2 体調不良による欠席、早退後の登校再開について

発熱	風邪症状等	登校再開の基準
37.5℃以上	ある	発熱した後5日を経過し、かつ解熱した後2日（幼稚部は3日）を経過した場合、登校可能。
	なし	解熱した後2日（幼稚部は3日）を経過した場合、または、医師により登校可能と許可された場合、登校可能。
37.0℃以上 37.5℃未満	ある	症状が改善して1日経過した場合、登校可能。
	なし	症状が改善して1日経過した場合、または、医師により登校可能と許可された場合、登校可能。

3 給食

- ・配膳・喫食前は石鹸を使った手洗い、うがいを徹底します。
- ・配膳台、机を消毒してから使用します。食後も消毒をします。
- ・机の間隔をあけ、向き合って食べません。

4 校内環境について

- ・換気の徹底を行います。
 - 始業前に窓とドアを5分以上全開にします。
 - 授業中は窓を10cm以上開け、ドアは開けたままにします。
 - 放課は窓とドアを5分以上全開にします。
 - 換気に伴う暑さ対策としてエアコンや扇風機等を使用します。
- ・全校、部全体など大きな集団では活動しません。
- ・授業後に楽器や作業の道具などの消毒を行います。
- ・下校後にドアノブや机上など大勢の人が触る場所を消毒します。

5 手洗いや咳エチケットについて

- ・石鹸や消毒液を配置し、手指衛生を保つよう整備します。
- ・身体接触を伴う介助を行う場合は、職員一人につき子ども一人の対応を基本とします。他の幼児児童の介助をする場合には手指消毒（携行用消毒液）を実施します。
- ・全幼児児童生徒及び職員はマスクを着用します。幼稚部、小学部の幼児児童は表裏が分かるように裏側になる面に名前を書いてください。
- ・授業中は、フェイスシールドやマスクを着用します。幼児児童生徒同士や席の間隔をおおよそ1～2m保つように指導します。

6 幼児児童生徒又は教職員の感染が判明した場合

- ・授業中に判明した場合は、授業を打ち切り、マチコミによるメール配信を行い、引き渡しによる下校体制に入ります。
- ・3日間の臨時休業とし、保健所の指示の下、県の定める消毒マニュアルに従って消毒を行います。その後の休業の期間は県教育委員会と相談の上決定します。

7 その他

- ・緊急時の連絡が取れるように、正確な緊急連絡先を担当にお伝えください。
- ・教職員についても「健康観察の徹底」「給食」「手洗いや咳エチケットについて」は幼児児童生徒と同様に取り組みます。

◎次の場合速やかに学校にお知らせください。

◇お子様や御家族が感染者、濃厚接触者となった場合

◇身近に感染者、濃厚接触者、または海外からの来訪者や帰国者がいる場合

<平日>学校 ☎0564-45-2830 FAX0564-45-6248

<休日や夜間>学校携帯に御連絡ください。

◎インフルエンザ等の感染症と同様、①手洗い・うがい ②不要不急な外出や人混み等への外出を控える ③睡眠や食事に気を配り免疫力を高める、など引き続き感染症予防に努めてください。